

**マネージド・サービス・プロバイダ及びIT情報基盤の運用に携わる技術者のための
日本MSP協会設立について**

一般社団法人クラウド利用促進機構、株式会社スカイアーチネットワークス、テコラス株式会社、株式会社ハートビーツ、クリエーションライン株式会社の5団体は、2014年11月1日、マネージド・サービス・プロバイダ及びIT情報基盤の運用に携わる技術者のための協会として、「日本MSP協会」を設立いたしました。

近年、インターネットビジネスを支えるIT情報基盤はますます多様になり、サービスの選択肢が増える反面、基盤運用の複雑化を招いています。本協会では、そうした課題を共有し、運用に関連する様々は評価軸を整理して明確化するとともに、適切なコストで安全かつ効率的な基盤運用指標を提供することで、さらなるIT産業界の活性化への貢献を目指します。

本協会の概要は以下の通りです。

■名称

日本MSP協会

■発起人

一般社団法人クラウド利用促進機構 荒井康宏
株式会社スカイアーチネットワークス 江戸達博
テコラス株式会社 嶋田健作
株式会社ハートビーツ 藤崎正範
クリエーションライン株式会社 安田忠弘
北海道大学 情報基盤センター 棟朝雅晴

■設立趣意

添付の「設立趣意書」をご参照下さい。

■活動概要

添付の「日本MSP協会について」をご参照下さい。

■お問い合わせ

日本MSP協会 事務局 担当：伊勢

E-mail : contact@mspi.jp

URL : <http://mspi.jp>

日本 MSP (Managed Service Provider) 協会
設立趣意書

今やインターネットビジネスを支える IT 情報基盤には、仮想マシン、ベアメタル、ファブリック、仮想ネットワーク、仮想ストレージなどの高度な技術が適用され、さらにオンプレミス、ホスティング、プライベートクラウド、パブリッククラウドなど様々なサービスが提供されることで、コンピューティングリソースの選択肢が多様化する反面、サービス選定と基盤運用の複雑化を招いています。

その IT 情報基盤に要求されるセキュリティや性能、機能、安定性など多岐にわたる要求を実現するには適切な運用設計と運用技術が必要とし、この基盤システムの運用がサービスの品質とビジネスの成否を決定付ける大きな要因でもあります。それぞれのサービスやアプリケーションに適した IT 情報基盤サービスを選択し、適切なコストで必要十分な運用を施す事がインターネットビジネスにおける重要な課題となっています。

しかしながら、従来運用における設計や手順などは各サービスや組織ごとで属人的かつ曖昧な基準によって実施されている場合が多く、IT 情報基盤における運用の項目、作業負荷、品質、及び費用対効果を精査することが大変困難でした。そのため IT 情報基盤サービスの適切な選択、運用に対する適当な人材雇用と投入工数、アウトソーシングやマネージド・サービスなどの正しい評価と活用を阻害する原因にもなっています。

そこで、IT 情報基盤の運用サービスを提供するマネージド・サービス・プロバイダ及び IT 情報基盤の運用に携わる技術者等と協力し、運用の技術向上と品質向上、運用技術に携わる人材の発掘と育成、運用に関連する様々な評価軸を整理して明確化するために日本 MSP 協会を設立します。そして、利用者にとって最適な IT 情報基盤の選定と、適切なコストで安全かつ効率的に基盤を運用する指標を提供することで、さらなる IT 産業界の活性化に貢献していきます。

2014 年 11 月 1 日（発起人一同）

一般社団法人クラウド利用促進機構 荒井康宏
株式会社スカイアーチネットワークス 江戸達博
テコラス株式会社 嶋田健作
株式会社ハートビーツ 藤崎正範
クリエイションライン株式会社 安田忠弘
北海道大学 情報基盤センター 棟朝雅晴

日本MSP協会について

- 団体名 日本MSP協会
- 英語名 Managed Service Provider's Association Japan (略称MSPJ)
- 所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿6-27-30 テコラス株式会社内
- 設立 2014年11月1日
- 理事長 江戸達博 株式会社スカイアーチネットワークス
- URL <http://mspj.jp/>
- E-mail contact@mspj.jp

➤ 目的

インターネットビジネスを支えるIT情報基盤は仮想化技術とクラウドコンピューティングの出現を契機に様々な技術とサービスによって多様化しています。さらに現在仮想レイヤを介さないベアメタルシステムへの注目度も高まっていることから今後ますますIT情報基盤はハイブリッド化し、複雑化していくでしょう。情報基盤を安全に効率良く活用するには適切な運用ポリシーと技術が必要としますが、実装技術の進化やサービス展開の速度に比べ、運用に関する議論が不十分であり、今後ハイブリッド化し複雑化していく情報基盤をいかに運用するかという課題が非常に重要になってきます。

日本MSP協会では、この問題に対して運用事業者、運用技術者間での情報共有や基盤提供者と基盤利用者に対して情報発信を行う事で、IT情報基盤運用の技術向上と品質向上、運用技術に携わる人材の発掘と育成、運用に関連する様々な評価軸を整理明確化し、最適なIT情報基盤の選定と、適切なコストで安全かつ効率的に運用する指標を提供する事を目的としています。

➤ 役員および運営委員

理事長 江戸達博 株式会社スカイアーチネットワークス

理事 藤崎正範 株式会社ハートビーツ

理事 嶋田健作 テコラス株式会社

理事 田中邦裕 さくらインターネット株式会社

運営委員 荒井康宏 一般社団法人クラウド利用促進機構

運営委員 馬場俊彰 株式会社ハートビーツ

運営委員 高添 修 マイクロソフト株式会社

運営委員 大久保智之 テコラス株式会社

運営委員 前佛雅人 クリエーションライン株式会社

運営委員 三石 剛史 ニスコム株式会社

顧問 棟朝 雅晴 北海道大学 情報基盤センター

会員

▶ 正会員資格（※年会費一口30万円、協会活動を実施する法人、団体および個人）

（※ 年度途中入会の場合は、年会費ではなく入会金一口20万）

▶ 正会員

株式会社スカイアーチネットワークス

テコラス株式会社

株式会社ハートビーツ

クリエーションライン株式会社

ニスコム株式会社

さくらインターネット株式会社

株式会社エクシード

▶ 正会員のメリット

運用サービス市場動向の共有

運用サービス需要および案件事例の共有

基盤提供者及び利用者とのマッチング

会員間交流によるビジネスの創出

会員イベントの開催告知の支援（協賛、講演者手配、講演料割引等）

協会関連イベントでの会員パンフレットの配布

協会関連イベントのプレゼン枠、ブース出展枠の優先招待及び会員価格を提供

協会関連イベントの来場者枠の優先確保

寄稿依頼の斡旋

協会会報への会員紹介を掲載

協会名義及びロゴの使用

▶ 特別会員（協会活動を支援指導する法人、団体及び有識者）

運用設計ラボ合同会社 波田野裕一

Agile_Cat 鶴澤幹夫

▶ 事務局

事務局長 伊勢幸一 テコラス株式会社

事務局員 吉田友美 株式会社スカイアーチネットワークス

事務局員 門馬優子 テコラス株式会社

▶ 主な活動内容

1) 会員による会合の開催を通して事業者間、技術者間で問題課題と対処事例を共有する。

2) 会員向けの外部講師によるセミナーを実施し、業界動向や技術トレンドを共有する。

3) 一般向けのワークショップ、セミナー、勉強会等を実施し、HPなどでそれらの内容を公開し、業界全体で広く共有する。

4) 運用における評価軸を整理してドキュメント化し、適切な情報基盤と運用サービスの選択基準と運用ガ

イドラインの整備を図る。

▶ 後援

マイクロソフト株式会社

Cloud Business Alliance

Open Compute Project Japan

工業技術研究院(台湾)

一般社団法人クラウド利用促進機構(CUPA)

以上